

経済学部経済学科課程表
2019年度以降入学生適用（その2）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 / 選択 必修	◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目	
第1類	コア (基礎科目)	ミクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2									◎ 4つのⅠより2科目以上、 4つのⅡより2科目以上 選択必修		
		ミクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2											
		マクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2											
		マクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2											
		資本主義経済入門Ⅰ	半期	●		2											
		資本主義経済入門Ⅱ	半期		●	2											
		資本主義経済理論Ⅰ	半期				●		2								
		資本主義経済理論Ⅱ	半期					●	2								
		経済統計学Ⅰ	半期	●		2											
		経済統計学Ⅱ	半期		●	2											
		情報リテラシーⅠ	半期	●		2											
		情報リテラシーⅡ	半期		●	2											
		ミクロ経済政策論	半期				●		2								
		マクロ経済政策論	半期					●	2								
		国際貿易論	半期				●		2								
		貿易政策論	半期					●	2								
		財政学Ⅰ	半期				●		2								
		財政学Ⅱ	半期					●	2								
		金融論Ⅰ	半期				●		2								
		金融論Ⅱ	半期					●	2								
日本経済入門	半期				●		2										
経済数学	半期					●	2										
第2類	専門 教育 科目	理論 ・ 思想	ミクロ経済学Ⅰ	半期					●		2				所属コースから8科目以上、 他コースから各6科目以上 を選択すること		
			ミクロ経済学Ⅱ	半期						●	2						
			マクロ経済学Ⅰ	半期						●		2					
			マクロ経済学Ⅱ	半期							●	2					
			経済学史入門	半期						●		2					
			経済学史	半期							●	2					
			経済思想史入門	半期						●		2					
			経済思想史	半期							●	2					
			経済倫理学	半期							●	2					
			現代の経済と倫理	半期								●	2				
			カオス時系列解析	半期							●		2				
			複雑系経済学	半期								●	2				
			ゲーム理論	半期								●	2				
			行動経済学	半期								●	2				
		実験経済学	半期									●	2				
		経済成長理論	半期								●		2				
		経済変動理論	半期									●	2				
		産業 ・ 政策	外国為替論	半期						●		2					
			国際金融論	半期							●		2				
			産業組織論	半期							●		2				
			企業経済学	半期								●	2				
			環境経済論	半期							●		2				
			環境政策論	半期								●	2				
			都市経済学	半期							●		2				
			都市空間経済学	半期								●	2				
			データ解析	半期							●		2				
			計量経済学	半期								●	2				
			公共経済学	半期								●	2				
公共選択論	半期										●	2					
財政システム論	半期								●		2						
財政政策論	半期									●	2						
金融システム論	半期							●		2							
金融政策論	半期								●	2							
開発マクロ経済学	半期							●		2							
開発ミクロ経済学	半期								●	2							

経済学部経済学科課程表
2019年度以降入学生適用（その3）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考					
			1年			2年			3年			4年								
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 / 選択 必修	◎印—必修科目 ○印—選択必修科目				
第2類	世界・日本・東北 コース科目	情報経済論	半期						●		2									
		グローバル資本主義論	半期							●		2								
		前近代日本経済史	半期						●		2									
		近代日本経済史	半期							●		2								
		日本経済論	半期						●		2									
		日本産業論	半期							●		2								
		東北経済論	半期						●		2									
		東北開発論	半期							●		2								
		地域経済論	半期							●		2								
		経済立地論	半期							●		2								
		農業経済論I	半期							●		2								
		農業経済論II	半期								●	2								
		地方の財政	半期							●		2								
		政治経済論I	半期							●		2								
		政治経済論II	半期								●	2								
西洋経済史I	半期							●		2										
西洋経済史II	半期								●	2										
専門教育科目	第3類	総合研究	総合演習	通年	●	●	4									◎				
			演習I	通年				●	●	4										
			演習II	通年							●	●	4							
			演習III	通年										●	●	4				
			外国書講読I	半期				●		2										
			外国書講読II	半期					●	2										
			外国書講読III	半期							●		2							
			外国書講読IV	半期								●	2							
			SeminarA	半期					●	2										
			SeminarB	半期							●		2							
			SeminarC	半期								●	2							
			経済学特殊講義I	半期							●		2							
			経済学特殊講義II	半期								●	2							
			経済学特殊講義III	半期								●	2							
経済学特殊講義IV	半期								●	2										
第4類	1系 資格講座	キャリア形成論	半期				●		2											
		公務員試験経済学講座I	半期					●	2											
		公務員試験経済学講座II	半期							●		2								
		ファイナンシャル・プランナー講座I	半期					●	2											
		ファイナンシャル・プランナー講座II	半期							●		2								
		Business and Financial English I	半期					●	2											
		Business and Financial English II	半期							●		2								
第5類	海外研究I	半期				●		2												
	海外研究II	半期					●	2												
	簿記学I	半期				●		2												
	簿記学II	半期					●	2												
	民法I	半期							●		2									
	民法II	半期								●	2									
	会社法I	半期							●		2									
	会社法II	半期								●	2									
	経営学総論I	半期							●		2									
経営学総論II	半期								●	2										

経済学部経済学科課程表
2019年度以降入学生適用（その4）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 ／ 選択 必修	◎印—必修科目 ○印—選択必修科目
教科に関する科目 教育職員免許状の	日本史要論	半期				●		2								
	外国史要論	半期				●		2								
	地理学概説	半期				●		2								
	地誌学概説	半期					●	2								
	職業指導Ⅰ	半期										●		2		
	職業指導Ⅱ	半期											●	2		
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2										◇	
	教育基礎論	半期	●		2										◇	
	教育の制度と経営	半期		●	2										◇	
	教育心理学	半期						2							◇	
	教育課程論	半期				●		2							◇	
	道徳教育の理論と方法	半期						2							※	
	教育の方法と技術	半期						2							◇	
	教育相談の理論と方法	半期						2							◇	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2							◇	
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	半期					●	2							※	
	社会・公民科教育法(概論・理論)	半期					●	2							※	
	社会・地理歴史科教育法(実践)	半期								●	2				※	
	社会・公民科教育法(実践)	半期								●	2				※	
	社会・地理歴史科教育法(応用)	半期								●	2				※	
	社会・公民科教育法(応用)	半期								●	2				※	
	社会科教育法(発展)	半期									2				※	
	商業科教育法(概論・理論)	半期								●	2				※	
	商業科教育法(実践・応用)	半期								●	2				※	
	特別支援教育論	半期									2				◇	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2				◇	
	介護体験実習	通年									2				※	
	教育実習Ⅰ	通年												3	◇	
教育実習Ⅱ	通年												2	※		
教職実践演習(中・高)	半期											●	2	◇		

◇印は、教育職員免許状取得に必修。
※印は、取得しようとする免許の種類と教科によって履修方法が異なる。
(詳細は大学要覧「教職課程」を参照のこと)
教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧「教職課程」を参照のこと。

経済学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	必修科目 6単位を含む	10単位
		知的基礎		8単位
	学科教養科目			16単位
	小 計			34単位
地域教育科目		必修（地域の課題Ⅰ）		2単位
外国語科目	第1類	必修		4単位
専門教育科目	第1類	選択必修科目8単位を含む		24単位
	第2類 *1	所属コース		16単位
		他コースから各12単位		24単位
	第3類	総合演習		4単位
小 計			68単位	
地域教育科目 外国語科目第2類 保健体育科目 専門教育科目第1類～第5類 *2 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				16単位以上
合 計				124単位以上

- *1 専門教育科目第2類は、所属するコースの科目から16単位、他コースの科目から各12単位の修得が必要。
- *2 専門教育科目第4類2系から卒業要件単位として算入できる単位数は2単位までを限度とする。

経済学科進級要件

・3学年次への進級に必要な最低修得単位数

合 計	42単位 以上	教養教育科目	TGベーシック	14単位 (必修科目4単位を含む)
		外国語科目	第1類	英語ⅠA・英語ⅠB 2単位
		専門教育科目	第3類	総合演習4単位
	第1類		選択必修8単位	
	その他（学科教養科目、地域教育科目、専門教育科目第1類～第5類）			14単位以上

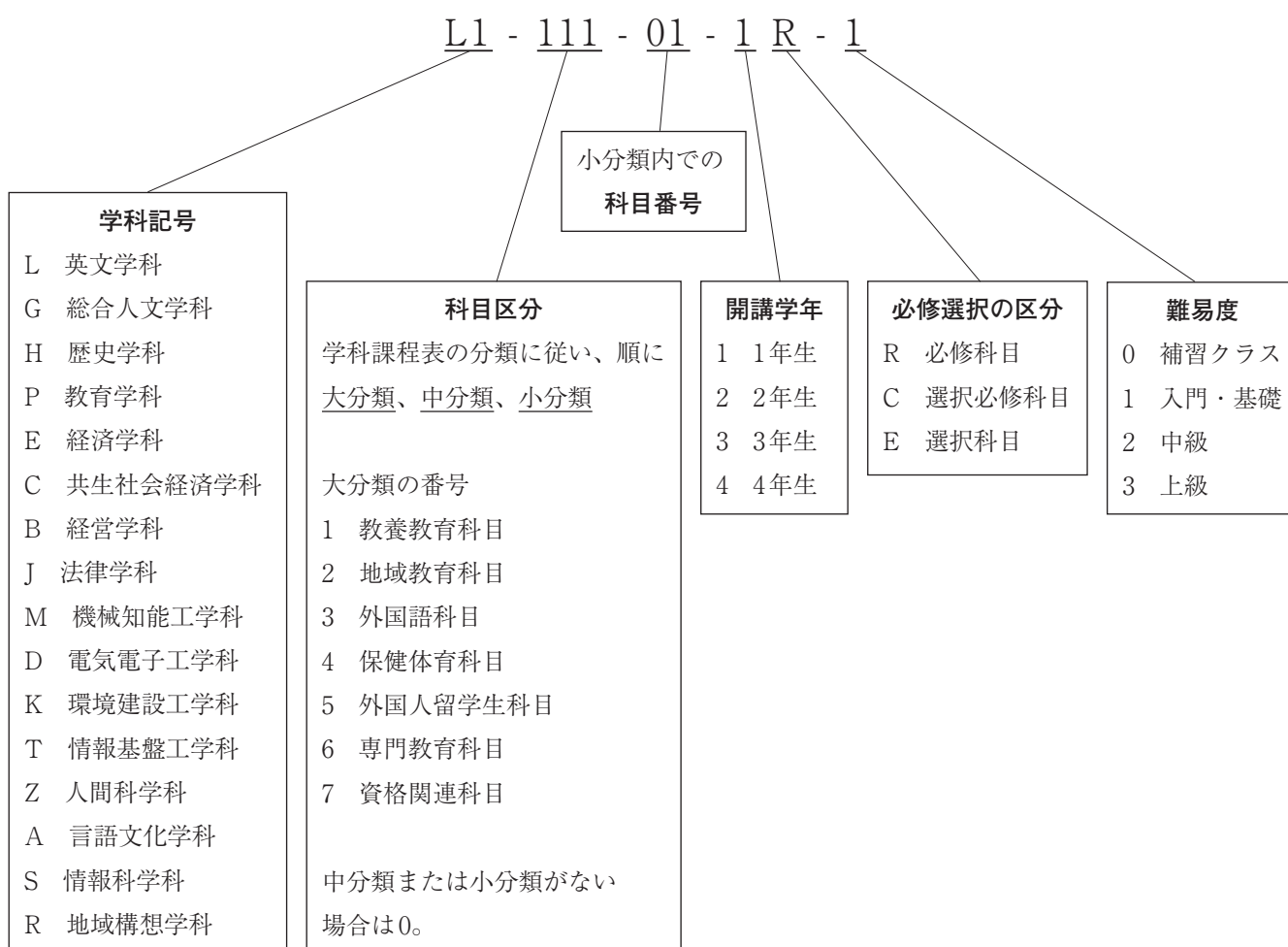
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

経済学部 経済学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)										
		現代をよく生きることに ついて、キリスト教の 教えを踏まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な汎用的 技能・能力及英語力 を活用できる	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	国内外の経 済状況を理 解し、経済 モデルを用 いて経済状 況および特 徴を説明で きる。	統計データ を活用して 経済状況を 分析できる。	今日の経済 の動きを歴 史的背景か ら理解す る。	東北地域の 経済状況お よび特徴を 説明できる。	今日の経済 が直面して いる問題が 何かを見出 し、改善策 を考えるこ とができる。	経済社会に ついての思 想や理論の 概要を理解 する。	課題を発見 し、その解 決のために 学修成果を 総合的に活 用できる
E0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○								
E0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○								
E0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○								
E0-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○								
E0-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○								
E0-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○								
E0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎								
E0-111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎								
E0-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎								
E0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎								
E0-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○								
E0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎									
E0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎									
E0-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○								
E0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○								
E0-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	○								
E0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎									
E0-112-08-1E-1	研究・発表の技法		◎									
E0-121-01-1E-1	哲学			◎								
E0-121-02-1E-1	芸術論			◎								
E0-121-03-1E-1	歴史学			◎								
E0-121-04-3E-1	倫理学			◎								
E0-121-05-1E-1	文学			◎								
E0-121-06-1E-1	文化人類学			◎								
E0-121-07-1E-1	地理学			◎								
E0-122-01-1E-1	心理学			◎								
E0-122-02-1E-1	社会学			◎								
E0-122-03-1E-1	法学入門			◎								
E0-122-04-2E-1	日本国憲法			◎								
E0-122-05-1E-1	現代政治入門			◎								
E0-122-06-2E-1	社会福祉論			◎								
E0-122-07-2E-1	東北地域論			◎								
E0-123-01-1E-1	環境の科学			◎								
E0-123-02-1E-1	自然の科学			◎								
E0-123-03-2E-1	健康の科学			◎								
E0-123-04-2E-1	先端の科学と技術			◎								
E0-123-05-1E-1	生命の科学			◎								
E0-200-01-1E-1	震災と復興			○								◎
E0-200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ											◎
E0-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ											◎
E0-200-04-3E-2	地域課題演習											◎
E0-310-01-1R-1	英語ⅠA		◎	○								
E0-310-02-1R-1	英語ⅠB		◎	○								
E0-310-03-2R-2	英語ⅡA		◎	○								
E0-310-04-2R-2	英語ⅡB		◎	○								
E0-320-01-1E-1	ドイツ語ⅠA		◎	○								
E0-320-02-1E-1	フランス語ⅠA		◎	○								
E0-320-03-1E-1	中国語ⅠA		◎	○								
E0-320-04-1E-1	ドイツ語ⅠB		◎	○								
E0-320-05-1E-1	フランス語ⅠB		◎	○								
E0-320-06-1E-1	中国語ⅠB		◎	○								
E0-320-07-2E-2	ドイツ語Ⅱ		◎	○								
E0-320-08-2E-2	フランス語Ⅱ		◎	○								
E0-320-09-2E-2	中国語Ⅱ		◎	○								
E0-320-10-3E-2	韓国・朝鮮語		◎	○								
E0-320-11-3E-2	外国語コミュニケーション		◎	○								
E0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎									
E0-330-02-3E-3	英語Ⅲ		◎	○								
E0-400-01-2E-1	体育講義			◎								
E0-400-02-2E-1	スポーツ実技			◎								
E0-510-01-1E-1	日本事情A		◎	○								
E0-510-02-1E-1	日本事情B		◎	○								
E0-510-03-1E-1	日本事情C		◎	○								
E0-520-01-1E-1	日本語ⅠA		◎	○								
E0-520-02-1E-1	日本語ⅠB		◎	○								
E0-520-03-2E-2	日本語ⅡA		◎	○								
E0-520-04-2E-2	日本語ⅡB		◎	○								

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)										
		現代をよく 生きるこ とについ て、キ リスト 教の 教え を踏 ま え た 考 察 が で き る	高度な 知的 活動 に必 要な 諸 技 能 ・ 能 力 及 び 英 語 力 を 活 用 で き る	も の ご と を 広 く 多 様 な 視 点 か ら 認 識 し 、 異 な る 認 識 ・ 思 考 方 法 や 価 値 観 に 理 解 を 示 す こ と が で き る	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	国内外の 経済状況 を理 解し、 経済 モデル を用 いて 経済 状 況を 説明 で き る。	統計デー タを活 用して 経済状 況を 分析で きる。	今日の 経済の 動きを 歴史的 背景か ら理解 する。	東北地域 の経済 状況お よび特 徴を説 明でき る。	今日の 経済が 直面し てい る問題 が何 かを見 出し、 改善策 を考 えら ぶこと がで きる。	経済社会 につい ての思 想や理 論の概 要を理 解す る。	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
E0-610-01-1C-1	マイクロ経済学入門 I		◎		○							
E0-610-02-1C-1	マイクロ経済学入門 II		◎		○							
E0-610-03-1C-1	マクロ経済学入門 I				◎					○		
E0-610-04-1C-1	マクロ経済学入門 II				◎					○		
E0-610-05-1C-1	資本主義経済入門 I							○			◎	
E0-610-06-1C-1	資本主義経済入門 II							○			◎	
E0-610-07-2C-1	資本主義経済理論 I							○			◎	
E0-610-08-2C-1	資本主義経済理論 II							○			◎	
E0-610-09-1E-1	経済統計学 I			○		◎						
E0-610-10-1E-1	経済統計学 II			○		◎						
E0-610-11-1E-1	情報リテラシー I					◎						○
E0-610-12-1E-1	情報リテラシー II					◎						○
E0-610-13-2E-1	マイクロ経済政策論			◎							○	
E0-610-14-2E-1	マクロ経済政策論			◎							○	
E0-610-15-2E-1	国際貿易論			◎								
E0-610-16-2E-1	貿易政策論			◎	○							
E0-610-17-2E-1	財政学 I			◎							○	
E0-610-18-2E-1	財政学 II			◎							○	
E0-610-19-2E-1	金融論 I			○	◎							
E0-610-20-2E-1	金融論 II			○	◎							
E0-610-21-2E-1	日本経済入門			◎							○	
E0-610-22-2E-1	経済数学				◎						○	
E0-621-01-3E-2	マイクロ経済学 I				◎						○	
E0-621-02-3E-2	マイクロ経済学 II				◎						○	
E0-621-03-3E-2	マクロ経済学 I				◎						○	
E0-621-04-3E-2	マクロ経済学 II				◎						○	
E0-621-05-3E-2	経済学史入門							○			◎	
E0-621-06-3E-2	経済学史							○			◎	
E0-621-07-3E-2	経済思想史入門							○			◎	
E0-621-08-3E-2	経済思想史							○			◎	
E0-621-09-3E-2	経済倫理学							○			◎	
E0-621-10-3E-2	現代の経済と倫理							○			◎	
E0-621-11-3E-2	カオス時系列解析			◎	○							
E0-621-12-3E-2	複雑系経済学			◎	○							
E0-621-13-3E-2	ゲーム理論			◎							○	
E0-621-14-3E-2	行動経済学				◎						○	
E0-621-15-3E-2	実験経済学				◎						○	
E0-621-16-3E-2	経済成長理論				◎						○	
E0-621-17-3E-2	経済変動理論				◎						○	
E0-622-01-3E-2	外国為替論			◎	○							
E0-622-02-3E-2	国際金融論			◎	○							
E0-622-03-3E-2	産業組織論				◎						○	
E0-622-04-3E-2	企業経済学				◎						○	
E0-622-05-3E-2	環境経済論									◎		○
E0-622-06-3E-2	環境政策論									◎		○
E0-622-07-3E-2	都市経済学									◎		
E0-622-08-3E-2	都市空間経済学				◎					◎		
E0-622-09-3E-2	データ解析			◎		○						
E0-622-10-3E-2	計量経済学			◎		○						
E0-622-11-3E-2	公共経済学			◎							○	
E0-622-12-3E-2	公共選択論			◎							○	
E0-622-13-3E-2	財政システム論			◎							○	
E0-622-14-3E-2	財政政策論			◎							○	
E0-622-15-3E-2	金融システム論			◎				○				
E0-622-16-3E-2	金融政策論			◎							○	
E0-622-17-3E-2	開発マクロ経済学			◎	○							
E0-622-18-3E-2	開発マイクロ経済学			◎	○							
E0-623-01-3E-2	情報経済論			◎				○				
E0-623-02-3E-2	グローバル資本主義論			◎				○				
E0-623-03-3E-3	前近代日本経済史					○		◎				
E0-623-04-3E-3	近代日本経済史					○		◎				
E0-623-05-3E-2	日本経済論			◎							○	
E0-623-06-3E-2	日本産業論			◎							○	
E0-623-07-3E-2	東北経済論			○				○		◎	○	
E0-623-08-3E-2	東北開発論			○				○		◎	○	
E0-623-09-3E-2	地域経済論									◎	○	
E0-623-10-3E-2	経済立地論									◎	○	
E0-623-11-3E-2	農業経済論 I							◎			○	
E0-623-12-3E-2	農業経済論 II							◎			○	
E0-623-13-3E-2	地方の財政					○				◎		
E0-623-14-3E-2	政治経済論 I							◎			○	
E0-623-15-3E-2	政治経済論 II							◎			○	
E0-623-16-3E-2	西洋経済史 I							◎			○	
E0-623-17-3E-2	西洋経済史 II							◎			○	

経済学部 経済学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる		
		現代をよく生きることに ついて、キリスト教の 教えを踏まえた考察 ができる	高度な知的活動に必要 な汎用的諸技能・能力 及び英語力を活用でき る	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	国内外の経済状況を理解し、経済モデルを用いて経済状況を説明できる。	統計データを活用して経済状況を分析できる。	今日の経済の動きを歴史的背景から理解する。		東北地域の経済状況および特徴を説明できる。	今日の経済が直面している問題が何かを見出し、改善策を考えることができる。
E0-630-01-1R-1	総合演習										◎
E0-630-02-2E-1	演習 I										◎
E0-630-03-3E-2	演習 II										◎
E0-630-04-4E-3	演習 III										◎
E0-630-05-2E-1	外国書講読 I		◎								
E0-630-06-2E-1	外国書講読 II		◎								
E0-630-07-3E-2	外国書講読 III		◎								
E0-630-08-3E-2	外国書講読 IV		◎								
E0-630-09-2E-1	SeminarA		◎								
E0-630-10-3E-2	SeminarB		◎								
E0-630-11-3E-2	SeminarC		◎								
E0-630-12-3E-2	経済学特殊講義 I			◎							
E0-630-13-3E-2	経済学特殊講義 II			◎							
E0-630-14-3E-2	経済学特殊講義 III			◎							
E0-630-15-3E-2	経済学特殊講義 IV			◎							
E0-641-01-2E-1	キャリア形成論			◎							
E0-642-01-2E-1	公務員試験経済学講座 I			◎							
E0-642-02-3E-2	公務員試験経済学講座 II			◎							
E0-642-03-2E-1	ファイナンシャル・プランナー講座 I			◎							
E0-642-04-3E-2	ファイナンシャル・プランナー講座 II			◎							
E0-642-05-2E-1	Business and Financial English I		◎								
E0-642-06-3E-2	Business and Financial English II		◎								
E0-650-01-2E-1	海外研究 I		◎								
E0-650-02-2E-1	海外研究 II		◎								
E0-650-03-2E-1	簿記学 I			◎							
E0-650-04-2E-1	簿記学 II			◎							
E0-650-05-3E-2	民法 I			◎							
E0-650-06-3E-2	民法 II			◎							
E0-650-07-3E-2	会社法 I			◎							
E0-650-08-3E-2	会社法 II			◎							
E0-650-09-3E-2	経営学総論 I			◎							
E0-650-10-3E-2	経営学総論 II			◎							
E0-701-01-2E-1	日本史要論			◎							
E0-701-02-2E-1	外国史要論			◎							
E0-701-03-2E-1	地理学概説			◎							
E0-701-04-2E-1	地誌学概説			◎							
E0-701-05-4E-2	職業指導 I			◎							
E0-701-06-4E-2	職業指導 II			◎							
E0-702-01-1R-1	現代教職論			◎							
E0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎							
E0-702-03-1R-1	教育の制度と経営			◎							
E0-702-04-2R-2	教育心理学			◎							
E0-702-05-2R-2	教育課程論			◎							
E0-702-06-2R-2	道德教育の理論と方法			◎							
E0-702-07-2R-2	教育の方法と技術			◎							
E0-702-08-2R-2	教育相談の理論と方法			◎							
E0-702-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎							
E0-702-10-2R-3	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)			◎					◎		
E0-702-11-2R-3	社会・公民科教育法(概論・理論)			◎					◎		
E0-702-12-3R-3	社会・地理歴史科教育法(実践)			◎					◎		
E0-702-13-3R-3	社会・公民科教育法(実践)			◎					◎		
E0-702-14-3E-3	社会・地理歴史科教育法(応用)			◎					◎		
E0-702-15-3R-3	社会・公民科教育法(応用)			◎					◎		
E0-702-16-3R-3	社会科教育法(発展)			◎					◎		
E0-702-17-3R-3	商業科教育法(概論・理論)			◎					◎		
E0-702-18-3R-3	商業科教育法(実践・応用)			◎					◎		
E0-702-19-3R-3	特別支援教育論			◎					◎		
E0-702-20-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			◎					◎		
E0-702-21-3R-2	介護体験実習			◎							◎
E0-702-22-4R-3	教育実習 I								◎		◎
E0-702-23-4R-3	教育実習 II								◎		◎
E0-702-24-4R-3	教職実践演習(中・高)										◎

経済学部経済学科課程表

2017(平成29)～2018(平成30)年度入学生適用(その2)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 / 選択 必修	◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目	
第1類	コア(基礎科目)	ミクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2									◎	4つのⅠより2科目以上、 4つのⅡより2科目以上 選択必修	
		ミクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2											
		マクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2											
		マクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2											
		資本主義経済入門Ⅰ	半期	●		2											
		資本主義経済入門Ⅱ	半期		●	2											
		資本主義経済理論Ⅰ	半期				●		2								
		資本主義経済理論Ⅱ	半期					●	2								
		経済統計学Ⅰ	半期	●		2											
		経済統計学Ⅱ	半期		●	2											
		情報リテラシーⅠ	半期	●		2											
		情報リテラシーⅡ	半期		●	2											
		ミクロ経済政策論	半期				●		2								
		マクロ経済政策論	半期					●	2								
		国際貿易論	半期				●		2								
		貿易政策論	半期					●	2								
		財政学Ⅰ	半期				●		2								
		財政学Ⅱ	半期					●	2								
		金融論Ⅰ	半期				●		2								
		金融論Ⅱ	半期					●	2								
日本経済入門	半期				●		2										
経済数学	半期					●	2										
第2類	専門教育科目	理論・思想	ミクロ経済学Ⅰ	半期					●		2				◎	所属コースから8科目以上、 他コースから各6科目以上 を選択すること	
			ミクロ経済学Ⅱ	半期						●	2						
			マクロ経済学Ⅰ	半期						●	2						
			マクロ経済学Ⅱ	半期						●	2						
			経済学史入門	半期						●	2						
			経済学史	半期						●	2						
			経済思想史入門	半期						●	2						
			経済思想史	半期						●	2						
			経済倫理学	半期						●	2						
			現代の経済と倫理	半期						●	2						
			カオス時系列解析	半期						●	2						
			複雑系経済学	半期						●	2						
			ゲーム理論	半期						●	2						
			行動経済学	半期						●	2						
		実験経済学	半期						●	2							
		経済成長理論	半期						●	2							
		経済変動理論	半期						●	2							
		産業・政策	外国為替論	半期						●		2					
			国際金融論	半期						●	2						
			産業組織論	半期						●	2						
			企業経済学	半期						●	2						
			環境経済論	半期						●	2						
			環境政策論	半期						●	2						
			都市経済学	半期						●	2						
			都市空間経済学	半期						●	2						
			データ解析	半期						●	2						
			計量経済学	半期						●	2						
			公共経済学	半期						●	2						
公共選択論	半期							●	2								
財政システム論	半期							●	2								
財政政策論	半期							●	2								
金融システム論	半期						●	2									
金融政策論	半期						●	2									
開発マクロ経済学	半期						●	2									
開発ミクロ経済学	半期						●	2									

経済学部経済学科課程表

2017(平成29)～2018(平成30)年度入学生適用(その3)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考						
			1年			2年			3年			4年									
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 / 選択 必修	◎印—必修科目 ○印—選択必修科目					
第2類	1系 科目 世界・日本・東北	情報経済論	半期							●		2									
		グローバル資本主義論	半期								●		2								
		前近代日本経済史	半期							●		2									
		近代日本経済史	半期								●		2								
		日本経済論	半期							●		2									
		日本産業論	半期								●		2								
		東北経済論	半期							●		2									
		東北開発論	半期								●		2								
		地域経済論	半期							●		2									
		経済立地論	半期								●		2								
		農業経済論I	半期								●		2								
		農業経済論II	半期									●	2								
		地方の財政	半期								●		2								
		政治経済論I	半期								●		2								
		政治経済論II	半期									●	2								
西洋経済史I	半期								●		2										
西洋経済史II	半期									●	2										
専門教育科目	3類	総合研究	総合演習	通年	●	●	4										◎				
			演習I	通年				●	●	4											
			演習II	通年							●	●	4								
			演習III	通年										●	●	4					
			外国書講読I	半期				●		2											
			外国書講読II	半期					●	2											
			外国書講読III	半期							●		2								
			外国書講読IV	半期								●	2								
			SeminarA	半期					●	2											
			SeminarB	半期							●		2								
			SeminarC	半期								●	2								
			経済学特殊講義I	半期								●	2								
			経済学特殊講義II	半期									●	2							
			経済学特殊講義III	半期								●	2								
経済学特殊講義IV	半期									●	2										
第4類	1系 資格講座	キャリア形成論	半期				●		2												
		公務員試験経済学講座I	半期					●	2												
		公務員試験経済学講座II	半期							●	2										
		ファイナンシャル・プランナー講座I	半期					●	2												
		ファイナンシャル・プランナー講座II	半期							●	2										
		Business and Financial English I	半期					●	2												
		Business and Financial English II	半期							●	2										
第5類		海外研究I	半期				●		2												
		海外研究II	半期					●	2												
		簿記学I	半期				●		2												
		簿記学II	半期					●	2												
		民法I	半期							●		2									
		民法II	半期								●	2									
		会社法I	半期							●		2									
		会社法II	半期								●	2									
		経営学総論I	半期							●		2									
経営学総論II	半期								●	2											

経済学部経済学科課程表

2017(平成29)～2018(平成30)年度入学生適用(その4)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 / 選択 必修	○印—必修科目 ○印—選択必修科目
教科に関する科目 教育職員免許状の	日本史要論	半期				●		2								
	外国史要論	半期				●		2								
	地理学概説	半期				●		2								
	地誌学概説	半期					●	2								
	職業指導Ⅰ	半期										●		2		
	職業指導Ⅱ	半期											●	2		
教職等に関する科目	現代教職論	半期	●		2										◇	
	教育原理	通年	●	●	4										◇	
	教育心理学	半期					●	2							◇	
	教育課程論	半期				●		2							◇	
	教科教育法Ⅰ(社会・地理歴史)	半期					●	2							◇	
	道徳教育の理論と方法	半期					●	2							☆	
	教育方法	半期				●		2							◇	
	教育の相談と指導Ⅰ	半期				●		2							◇	
	教育の相談と指導Ⅱ	半期					●	2							◇	
	教科教育法Ⅰ(社会・公民)	半期							●		2				◇	
	教科教育法Ⅱ(社会・地理歴史)	半期								●	2				◇	
	教科教育法Ⅱ(社会・公民)	半期								●	2				◇	
	教科教育法Ⅲ(社会・公民)	半期								●	2				◇	
	教科教育法Ⅳ(社会)	半期									2				◇	
	教科教育法Ⅰ(商業)	半期							●		2				◇	
	教科教育法Ⅲ(商業)	半期								●	2				◇	
	特別活動の理論と方法	半期								●	2				◇	
	介護体験実習	通年							●	●	2				☆	
教育実習Ⅰ	通年										●	●	3	◇		
教育実習Ⅱ	通年										●	●	2	☆		
教職実践演習(中・高)	半期											●	2	◇		

◇印は、教育職員免許状取得に必修。
 ☆印は、中学校教諭免許状取得に必修。
 教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧(教職課程)を参照のこと。

経済学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	必修科目 6単位を含む	10単位
		知的基礎		10単位
	学科教養科目			18単位
	小計			38単位
地域教育科目		必修(地域の課題Ⅰ)		2単位
外国語科目	第1類	必修		4単位
専門教育科目	第1類	選択必修科目8単位を含む		24単位
	第2類 *1	所属コース		16単位
		他コースから各12単位		24単位
	第3類	総合演習		4単位
小計			68単位	
地域教育科目 外国語科目第2類 保健体育科目 専門教育科目第1類～第5類 *2 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				12単位以上
合計				124単位以上

経済学科進級要件

・3学年次への進級に必要な最低修得単位数

合計	48単位以上	教養教育科目	TGベーシック	16単位 (必修科目4単位を含む)
		外国語科目	第1類	4単位
		専門教育科目	第3類	総合演習4単位
			第1類	選択必修8単位
計		その他(学科教養科目、地域教育科目、専門教育科目第1類～第5類)		16単位以上

*1 専門教育科目第2類は、所属するコースの科目から16単位、他コースの科目から各12単位の修得が必要。

*2 専門教育科目第4類2系から卒業要件単位として算入できる単位数は2単位までを限度とする。

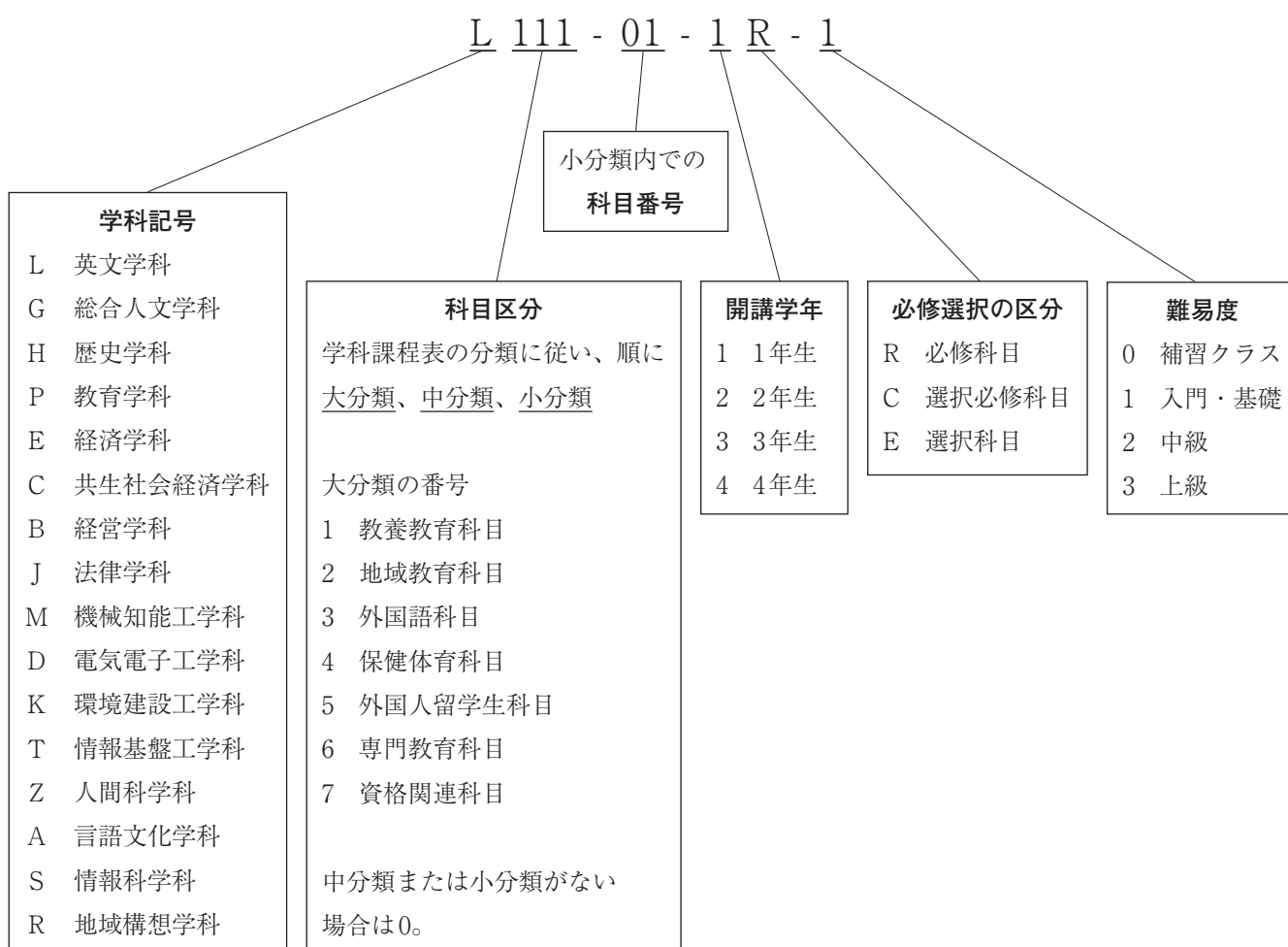
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



経済学部 経済学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	
		現代をよく生きることに ついて、キリスト教を踏 まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な 汎用的諸 技能・能力 及び英語力 を活用できる	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる					
				国内外の経 済状況を理 解し、経済 モデルを用 いて経済状 況および特 徴を説明で きる。	統計データ を活用して 経済状況を 分析でき る。	今日の経済 の動きを歴 史的背景か ら理解す る。	東北地域の 経済状況お よび特徴を 説明でき る。	今日の経済 が直面して いる問題が 何かを見出 し、改善策 を考えるこ とができる。	経済社会に ついての思 想や理論の 概要を理解 する。	
E111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○						
E111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○						
E111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○						
E111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○						
E111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○						
E111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○						
E111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎						
E111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎						
E111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎						
E111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎						
E112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○						
E112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎							
E112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎							
E112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○						
E112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○						
E112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎						
E112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎							
E112-08-1E-1	研究・発表の技法		◎							
E121-01-1E-1	哲学			◎						
E121-02-1E-1	芸術論			◎						
E121-03-1E-1	歴史学			◎						
E121-04-3E-1	倫理学			◎						
E121-05-1E-1	文学			◎						
E121-06-1E-1	文化人類学			◎						
E121-07-1E-1	地理学			◎						
E122-01-1E-1	心理学			◎						
E122-02-1E-1	社会学			◎						
E122-03-1E-1	法学入門			◎						
E122-04-2E-1	日本国憲法			◎						
E122-05-1E-1	現代政治入門			◎						
E122-06-2E-1	社会福祉論			◎						
E122-07-2E-1	東北地域論			◎						
E123-01-1E-1	環境の科学			◎						
E123-02-1E-1	自然の科学			◎						
E123-03-2E-1	健康の科学			◎						
E123-04-2E-1	先端の科学と技術			◎						
E123-05-1E-1	生命の科学			◎						
E200-01-1E-1	震災と復興			○						◎
E200-02-2R-1	地域の課題 I									◎
E200-03-2E-1	地域の課題 II									◎
E200-04-3E-2	地域課題演習									◎
E310-01-1R-1	英語 I A		◎	○						
E310-02-1R-1	英語 I B		◎	○						
E310-03-2R-2	英語 II A		◎	○						
E310-04-2R-2	英語 II B		◎	○						
E320-01-1E-1	ドイツ語 I A		◎	○						
E320-02-1E-1	フランス語 I A		◎	○						
E320-03-1E-1	中国語 I A		◎	○						
E320-04-1E-1	ドイツ語 I B		◎	○						
E320-05-1E-1	フランス語 I B		◎	○						
E320-06-1E-1	中国語 I B		◎	○						
E320-07-2E-2	ドイツ語 II		◎	○						
E320-08-2E-2	フランス語 II		◎	○						
E320-09-2E-2	中国語 II		◎	○						
E320-10-3E-2	韓国・朝鮮語		◎	○						
E320-11-3E-2	外国語コミュニケーション		◎	○						
E330-01-1E-0	ベーシック英語		◎							
E330-02-3E-3	英語 III		◎	○						
E400-01-2E-1	体育講義			◎						
E400-02-2E-1	スポーツ実技			◎						
E510-01-1E-1	日本事情 A		◎	○						
E510-02-1E-1	日本事情 B		◎	○						
E510-03-1E-1	日本事情 C		◎	○						
E520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○						
E520-02-1E-1	日本語 I B		◎	○						
E520-03-2E-2	日本語 II A		◎	○						
E520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○						

経済学部 経済学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	
		現代をよく生きることに ついて、キリストを踏 まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な 技能・能力 及び英語力 を活用できる	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる					経済社会に ついての思 想や理論の 概要を理解 する。
		国内外の経 済状況を理 解し、経済 モデルを用 いて経済状 況および特 徴を説明で きる。	統計デー タを活用し て経済状況 を分析でき る。	今日の経済 の動きを歴 史的背景か ら理解す る。	東北地域の 経済状況お よび特徴を 説明でき る。	今日の経済 が直面して いる問題が 何かを見出 し、改善策 を考えるこ とができる。				
E610-01-1C-1	ミクロ経済学入門Ⅰ		◎		○					
E610-02-1C-1	ミクロ経済学入門Ⅱ		◎		○					
E610-03-1C-1	マクロ経済学入門Ⅰ				◎				○	
E610-04-1C-1	マクロ経済学入門Ⅱ				◎				○	
E610-05-1C-1	資本主義経済入門Ⅰ						○			◎
E610-06-1C-1	資本主義経済入門Ⅱ						○			◎
E610-07-2C-1	資本主義経済理論Ⅰ						○			◎
E610-08-2C-1	資本主義経済理論Ⅱ						○			◎
E610-09-1E-1	経済統計学Ⅰ			○		◎				
E610-10-1E-1	経済統計学Ⅱ			○		◎				
E610-11-1E-1	情報リテラシーⅠ					◎				○
E610-12-1E-1	情報リテラシーⅡ					◎				○
E610-13-2E-1	ミクロ経済政策論			◎					○	
E610-14-2E-1	マクロ経済政策論			◎					○	
E610-15-2E-1	国際貿易論			◎	○				○	
E610-16-2E-1	貿易政策論			◎	○					
E610-17-2E-1	財政学Ⅰ			◎					○	
E610-18-2E-1	財政学Ⅱ			◎					○	
E610-19-2E-1	金融論Ⅰ			○	◎					
E610-20-2E-1	金融論Ⅱ			○	◎					
E610-21-2E-1	日本経済入門			◎					○	
E610-22-2E-1	経済数学				◎				○	
E621-01-3E-2	ミクロ経済学Ⅰ				◎				○	
E621-02-3E-2	ミクロ経済学Ⅱ				◎				○	
E621-03-3E-2	マクロ経済学Ⅰ				◎				○	
E621-04-3E-2	マクロ経済学Ⅱ				◎				○	
E621-05-3E-2	経済学史入門						○			◎
E621-06-3E-2	経済学史						○			◎
E621-07-3E-2	経済思想史入門						○			◎
E621-08-3E-2	経済思想史						○			◎
E621-09-3E-2	経済倫理学						○			◎
E621-10-3E-2	現代の経済と倫理						○			◎
E621-11-3E-2	カオス時系列解析			◎	○					
E621-12-3E-2	複雑系経済学			◎	○					
E621-13-3E-2	ゲーム理論			◎					○	
E621-14-3E-2	行動経済学				◎				○	
E621-15-3E-2	実験経済学				◎				○	
E621-16-3E-2	経済成長理論				◎				○	
E621-17-3E-2	経済変動理論				◎				○	
E622-01-3E-2	外国為替論			◎						
E622-02-3E-2	国際金融論			◎	○					
E622-03-3E-2	産業組織論				◎				○	
E622-04-3E-2	企業経済学				◎				○	
E622-05-3E-2	環境経済論								◎	○
E622-06-3E-2	環境政策論								◎	○
E622-07-3E-2	都市経済学				◎				◎	
E622-08-3E-2	都市空間経済学				◎				◎	
E622-09-3E-2	データ解析			◎		○				
E622-10-3E-2	計量経済学					○				
E622-11-3E-2	公共経済学			◎					○	
E622-12-3E-2	公共選択論			◎					○	
E622-13-3E-2	財政システム論			◎					○	
E622-14-3E-2	財政政策論			◎					○	
E622-15-3E-2	金融システム論			◎			○			
E622-16-3E-2	金融政策論				◎				○	
E622-17-3E-2	開発マクロ経済学			◎	○					
E622-18-3E-2	開発ミクロ経済学			◎	○					
E623-01-3E-2	情報経済論			◎			○			
E623-02-3E-2	グローバル資本主義論			◎			○			
E623-03-3E-3	前近代日本経済史					○	◎			
E623-04-3E-3	近代日本経済史					○	◎			
E623-05-3E-2	日本経済論			◎					○	
E623-06-3E-2	日本産業論			◎					○	
E623-07-3E-2	東北経済論						○	◎		○
E623-08-3E-2	東北開発論			○			○	◎		○
E623-09-3E-2	地域経済論							◎		○
E623-10-3E-2	経済立地論							◎		○
E623-11-3E-2	農業経済論Ⅰ						◎			○
E623-12-3E-2	農業経済論Ⅱ						◎			○
E623-13-3E-2	地方の財政					○			◎	
E623-14-3E-2	政治経済論Ⅰ						◎			○
E623-15-3E-2	政治経済論Ⅱ						◎			○
E623-16-3E-2	西洋経済史Ⅰ						◎			○
E623-17-3E-2	西洋経済史Ⅱ						◎			○

経済学部 経済学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる		
		現代をよく生きることについて、キリストの教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	国内外の経済状況を理解し、経済モデルを用いて経済状況および特徴を説明できる。	統計データを活用して経済状況を分析できる。	今日の経済の動きを歴史的背景から理解する。		東北地域の経済状況および特徴を説明できる。	今日の経済が直面している問題が何かを見出し、改善策を考えることができる。
E630-01-1R-1	総合演習										◎
E630-02-2E-1	演習 I										◎
E630-03-3E-2	演習 II										◎
E630-04-4E-3	演習 III										◎
E630-05-2E-1	外国書講読 I		◎								
E630-06-2E-1	外国書講読 II		◎								
E630-07-3E-2	外国書講読 III		◎								
E630-08-3E-2	外国書講読 IV		◎								
E630-09-2E-1	SeminarA		◎								
E630-10-3E-2	SeminarB		◎								
E630-11-3E-2	SeminarC		◎								
E630-12-3E-2	経済学特殊講義 I			◎							
E630-13-3E-2	経済学特殊講義 II			◎							
E630-14-3E-2	経済学特殊講義 III			◎							
E630-15-3E-2	経済学特殊講義 IV			◎							
E641-01-2E-1	キャリア形成論			◎							
E642-01-2E-1	公務員試験経済学講座 I			○							
E642-02-3E-2	公務員試験経済学講座 II			○							
E642-03-2E-1	ファイナンシャル・プランナー講座 I			○							
E642-04-3E-2	ファイナンシャル・プランナー講座 II			○							
E642-05-2E-1	Business and Financial English I		◎								
E642-06-3E-2	Business and Financial English II		◎								
E650-01-2E-1	海外研究 I		◎								
E650-02-2E-1	海外研究 II		◎								
E650-03-2E-1	簿記学 I			○							
E650-04-2E-1	簿記学 II			○							
E650-05-3E-2	民法 I			○							
E650-06-3E-2	民法 II			○							
E650-07-3E-2	会社法 I			○							
E650-08-3E-2	会社法 II			○							
E650-09-3E-2	経営学総論 I			○							
E650-10-3E-2	経営学総論 II			○							
E701-01-2E-1	日本史要論			◎							
E701-02-2E-1	外国史要論			◎							
E701-03-2E-1	地理学概説			◎							
E701-04-2E-1	地誌学概説			◎							
E701-05-4E-2	職業指導 I			◎							
E701-06-4E-2	職業指導 II			◎							
E702-01-1R-1	現代教職論			◎							
E702-02-1R-1	教育原理			◎							
E702-03-2R-1	教育心理学			◎							
E702-04-2R-1	教育課程論			◎							
E702-05-2R-1	教科教育法 I (社会・地理歴史)			◎							
E702-06-2R-1	道徳教育の理論と方法			◎							
E702-07-2R-1	教育方法			◎							
E702-08-2R-1	教育の相談と指導 I			◎							
E702-09-2R-1	教育の相談と指導 II			◎							
E702-10-3R-2	教科教育法 I (社会・公民)			◎					○		
E702-11-3R-2	教科教育法 II (社会・地理歴史)			◎					○		
E702-12-3R-2	教科教育法 II (社会・公民)			◎					○		
E702-13-3R-2	教科教育法 III (社会・公民)			◎					○		
E702-14-3E-2	教科教育法 IV (社会)			◎					○		
E702-15-3R-2	教科教育法 I (商業)			◎					○		
E702-16-3R-2	教科教育法 III (商業)			◎					○		
E702-17-3R-2	特別活動の理論と方法			◎							
E702-18-3R-2	介護体験実習			◎							
E702-19-4R-2	教育実習 I			○							◎
E702-20-4R-2	教育実習 II			○							◎
E702-21-4R-2	教職実践演習 (中・高)			○							◎

経済学部経済学科課程表

2013(平成25)～2016(平成28)年度入学生適用(その1)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○—前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
教養教育科目	第1類 (TGベリック)	人間的基礎教育	聖書を学ぶ	半期	●		2											◎	
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2												◎
			キリスト教学A(キリスト教と倫理)	半期							○	○	2						} 4科目のうち1科目2単位必修。 計4単位まで卒業単位に算入することができる。
			キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期							○	○	2						
			キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期							○	○	2						
		キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期							○	○	2							
		市民社会を生きる	半期	○	○	2													
		知的基礎教育	地球社会を生きる	半期				○	○	2									
			科学技術社会を生きる	半期				○	○	2									
			キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2												
	クリティカル・シンキング		半期							○	○	2							
	数理的思考の基礎		半期	○	○	2													
	統計的思考の基礎		半期	○	○	2													
	科学的思考の基礎		半期				○	○	2										
	情報化社会の基礎		半期	○	○	2													
	第2類	人文系	メディア・リテラシー	半期				○	○	2									
			読解・作文の技法	半期	●		2												
			研究・発表の技法	半期		●	2												
			哲学	半期	○	○	2												
			芸術論	半期	○	○	2												
		社会系	歴史学	半期	○	○	2												
			倫理学	半期							○	○	2						
			文学	半期	○	○	2												
			文化人類学	半期	○	○	2												
			地理学	半期	○	○	2												
	自然系		心理学	半期	○	○	2												
			社会学	半期	○	○	2												
			法学入門	半期	○	○	2												
日本国憲法			半期				○	○	2										
現代政治入門			半期	○	○	2													
社会福祉論			半期				○	○	2										
東北地域論			半期				○	○	2										
震災と復興			半期	○	○	2													
外国語科目	第1類		英語I A	半期	●		2											◎	
			英語I B	半期		●	2											◎	
	第2類	ドイツ語I A	半期	●		2													
		フランス語I A	半期	●		2													
		中国語I A	半期	●		2													
		ドイツ語I B	半期		●	2													
		フランス語I B	半期		●	2													
		中国語I B	半期		●	2													
		英語II	半期				●		2										
		ドイツ語II	半期				●		2										
		フランス語II	半期				●		2										
		中国語II	半期				●		2										
保健体育科目	体育講義	半期				○	○	2											
	スポーツ実技	通年				●	●	2											
外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期			2													
		日本事情B	半期			2													
		日本事情C	半期			2													
	第2類	日本語I	通年			2													
		日本語II	通年						2										

経済学部経済学科課程表

2013(平成25)～2016(平成28)年度入学生適用(その2)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
第1類	基礎	ミクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2											◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目 4つのⅠより2科目以上、 4つのⅡより2科目以上 選択必修
		ミクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2											
		マクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2											
		マクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2											
		資本主義経済入門Ⅰ	半期	●		2											
		資本主義経済入門Ⅱ	半期		●	2											
		資本主義経済理論Ⅰ	半期				●		2								
		資本主義経済理論Ⅱ	半期					●	2								
		経済政策論Ⅰ	半期				●		2								
		経済政策論Ⅱ	半期					●	2								
		財政学Ⅰ	半期				●		2								
		財政学Ⅱ	半期					●	2								
		金融論Ⅰ	半期				●		2								
		金融論Ⅱ	半期					●	2								
		国際経済学Ⅰ	半期				●		2								
		国際経済学Ⅱ	半期					●	2								
西洋経済史Ⅰ	半期							●		2							
西洋経済史Ⅱ	半期								●	2							
経済統計学Ⅰ	半期	●		2													
経済統計学Ⅱ	半期		●	2													
第2類	1系 理論	ミクロ経済学Ⅰ	半期						●		2						
		ミクロ経済学Ⅱ	半期							●	2						
		マクロ経済学Ⅰ	半期							●	2						
		マクロ経済学Ⅱ	半期								●	2					
		政治経済学Ⅰ	半期							●	2						
		政治経済学Ⅱ	半期								●	2					
		計量経済学Ⅰ	半期							●	2						
		計量経済学Ⅱ	半期								●	2					
		都市経済学Ⅰ	半期							●	2						
		都市経済学Ⅱ	半期								●	2					
		経済学史Ⅰ	半期							●	2						
		経済学史Ⅱ	半期								●	2					
		経済思想史Ⅰ	半期							●	2						
		経済思想史Ⅱ	半期								●	2					
		経済倫理学Ⅰ	半期							●	2						
		経済倫理学Ⅱ	半期								●	2					
第2類	2系 政策	国際金融論Ⅰ	半期						●	2							
		国際金融論Ⅱ	半期							●	2						
		経済数学	半期				●	2									
		財政政策論Ⅰ	半期						●	2							
		財政政策論Ⅱ	半期							●	2						
		金融政策論Ⅰ	半期						●	2							
		金融政策論Ⅱ	半期							●	2						
		産業組織論Ⅰ	半期						●	2							
		産業組織論Ⅱ	半期							●	2						
		公共経済論Ⅰ	半期						●	2							
		公共経済論Ⅱ	半期							●	2						
		環境経済論Ⅰ	半期						●	2							
		環境経済論Ⅱ	半期							●	2						
		農業経済論Ⅰ	半期						●	2							
		農業経済論Ⅱ	半期							●	2						
		ベンチャービジネス論Ⅰ	半期						●	2							
ベンチャービジネス論Ⅱ	半期							●	2								
ゲーム理論	半期						●	2									
地方の財政	半期							●	2								

経済学部経済学科課程表

2013(平成25)～2016(平成28)年度入学生適用(その3)

※開講学年前期後期欄

●-原則としてその学期で開講。
○-前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
第2類	3系 応用	日本経済入門	半期				●		2										
		日本経済論 I	半期							●		2							
		日本経済論 II	半期								●	2							
		東北経済論 I	半期							●		2							
		東北経済論 II	半期							●	2								
		地域経済論 I	半期							●		2							
		地域経済論 II	半期							●	2								
		日本経済史 I	半期							●		2							
		日本経済史 II	半期								●	2							
		資本主義発達史 I	半期								●	2							
		資本主義発達史 II	半期								●	2							
		情報経済論 I	半期								●	2							
		情報経済論 II	半期								●	2							
		経済モデル・シミュレーション I	半期								●	2							
		経済モデル・シミュレーション II	半期								●	2							
		情報リテラシー I	半期	●		2													
情報リテラシー II	半期		●	2															
専門教育科目	第3類	総合研究	総合演習	通年	●	●	4											◎	
			演習 I	通年				●	●	4									
			演習 II	通年							●	●	4						
			演習 III	通年										●	●	4			
			外国書講読 I	半期				●		2									
			外国書講読 II	半期					●	2									
			外国書講読 III	半期							●		2						
			外国書講読 IV	半期								●	2						
			経済学特殊講義 I	半期								●	2						
			経済学特殊講義 II	半期									●	2					
第4類	1系 自己の探求	キャリア形成論	半期				●		2										
		公務員試験経済学講座 I	半期					●	2										
		公務員試験経済学講座 II	半期							●	2								
		ファイナンシャル・プランナー講座 I	半期						●	2									
		ファイナンシャル・プランナー講座 II	半期								●	2							
		Business and Financial English I	半期						●	2									
		Business and Financial English II	半期								●	2							
第5類	海外研究 I	半期				●		2											
	海外研究 II	半期					●	2											
	簿記学 I	半期				●		2											
	簿記学 II	半期					●	2											
	民法 I	半期							●		2								
	民法 II	半期								●	2								
	会社法 I	半期								●	2								
	会社法 II	半期									●	2							
	経営学総論 I	半期								●	2								
経営学総論 II	半期									●	2								

経済学部経済学科課程表

2013(平成25)～2016(平成28)年度入学生適用(その4)

※開講学年前期後期欄

●-原則としてその学期で開講。
○-前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
教科に 関する 科目 の 免 許 状 の 目	日本史要論	半期				●		2									○印-必修科目 ○印-選択必修科目
	外国史要論	半期				●		2									
	地理学概説	半期				●		2									
	地誌学概説	半期					●	2									
	職業指導Ⅰ	半期											●	2			
	職業指導Ⅱ	半期												●	2		
教職等 に 関 する 科 目	現代教職論	半期	●		2											○	○印は、教育職員免許状取得に必修 ☆印は、中学校教諭免許状取得に必修 教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧(教職課程)を参照のこと。
	教育原理	通年	●	●	4											○	
	教育心理学	半期					●	2								○	
	教育課程論	半期				●		2								○	
	教科教育研究Ⅰ(社会・地理歴史)	半期					●	2								○	
	道徳教育研究	半期					●	2								☆	
	教育方法	半期				●		2								○	
	教育の相談と指導Ⅰ	半期				●		2								○	
	教育の相談と指導Ⅱ	半期					●	2								○	
	教科教育研究Ⅰ(社会・公民)	半期							●		2					○	
	教科教育研究Ⅱ(社会・地理歴史)	半期								●	2					○	
	教科教育研究Ⅱ(社会・公民)	半期								●	2					○	
	教科教育研究Ⅲ(社会・公民)	半期								●	2					○	
	教科教育研究Ⅳ(社会)	半期									2						
	教科教育研究Ⅰ(商業)	半期							●		2					○	
	教科教育研究Ⅲ(商業)	半期								●	2					○	
	特別活動研究	半期								●	2					○	
	介護体験実習	通年							●	●	2					☆	
	教育実習Ⅰ	通年										●	●	3		○	
	教育実習Ⅱ	通年										●	●	2		☆	
教職実践演習(中・高)	半期											●	2		○		

経済学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	第1類	人間的基礎	必修科目 6単位を含む	10単位
		知的基礎		10単位
	第2類			20単位
	小計			40単位
外国語科目	第1類	必修		4単位
	第1類	選択必修科目8単位を含む		24単位
専門教育科目	第2類	各系12単位必修		36単位
	第3類	総合演習		4単位
	小計			64単位
外国語科目第2類 保健体育科目 専門教育科目第1類～第5類 *1 ☆1 他学部・他学科開講科目 ☆2 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				16単位以上
合計				124単位以上

*1 専門教育科目第4類2系から卒業要件単位として算入できる単位数は2単位までを限度とする。

☆1、☆2については履修科目登録要項を参照のこと。

経済学科進級要件

・3学年次への進級に必要な最低修得単位数

合計	48単位以上	教養教育科目	第1類	16単位 (必修科目4単位を含む)
		外国語科目	第1類	4単位
		専門教育科目	第3類	総合演習4単位
			第1類	選択必修8単位
		その他(教養教育科目第2類、専門教育科目第1類～第5類)		

経済学部経済学科課程

2010(平成22)～2012(平成24)年度入学生適用(その1)

区分	配当年次別授業科目												備考
	1 学 年 次			2 学 年 次			3 学 年 次			4 学 年 次			
	科目名	単位	期間	科目名	単位	期間	科目名	単位	期間	科目名	単位	期間	
教養教育科目	第一類	×キリスト教学Ⅰ	4	通年						×キリスト教学Ⅱ	4	通年	<p>・経済学科を卒業し学士の学位を得るためには124単位以上を修得しなければならない</p> <p>・×印は必修</p> <p>・×___印は選択必修</p> <p>I. 教養教育科目</p> <p>28単位以上修得</p> <p>イ. 第1類 8単位</p> <p>ロ. 第2類 20単位</p> <p>・日本国憲法は、教育職員免許状取得に必修</p>
	第二類	哲 学	2	半期	思想の歴史	2	半期						
		倫 理 学	2	半期	論証の科学	2	半期						
		歴 史 学	2	半期	日本国憲法	2	半期						
		文化人類学	2	半期	現代アジア論	2	半期						
		文 学	2	半期	東北地域論	2	半期						
		芸 術 論	2	半期	現代社会論	2	半期						
		法 学	2	半期	マスコミュニケーション論	2	半期						
		生活と法	2	半期	先端技術論	2	半期						
		現代の政治	2	半期									
		社 会 学	2	半期									
		心 理 学	2	半期									
		基礎数学	2	半期									
	生命の科学	2	半期										
	環境の科学	2	半期										
外国語科目	第一類	×英語ⅠA	2	通年									<p>II. 外国語科目</p> <p>第1類 4単位</p> <p>・外国語コミュニケーションは、教育職員免許状取得に必修</p>
		×英語ⅠB	2	通年									
	第二類	ドイツ語ⅠA	2	通年	英語Ⅱ	2	通年	外国語コミュニケーション	2	通年			
		フランス語ⅠA	2	通年	ドイツ語Ⅱ	2	通年						
		中国語ⅠA	2	通年	フランス語Ⅱ	2	通年						
		ドイツ語ⅠB	2	通年	中国語Ⅱ	2	通年						
		フランス語ⅠB	2	通年									
	中国語ⅠB	2	通年										
保健体育科目					体育講義	2	半期						・スポーツ実技は、教育職員免許状取得に必修
外国人留学生科目	第一類	日本事情A	2	半期									・外国人留学生科目は、外国人留学生のみが履修できる
		日本事情B	2	半期									
		日本事情C	2	半期									
	第二類	日本語Ⅰ	2	通年	日本語Ⅱ	2	通年						

経済学部経済学科課程表

2010(平成22)～2012(平成24)年度入学生適用(その2)

区分	配 当 年 次 別 授 業 科 目												備 考		
	1 学 年 次			2 学 年 次			3 学 年 次			4 学 年 次					
	科 目 名	単 位	期 間	科 目 名	単 位	期 間	科 目 名	単 位	期 間	科 目 名	単 位	期 間			
専 門 教 育 科 目	第 一 類	基 礎	①×ミクロ経済学入門	4	通年	④×資本主義経済理論	4	通年	} ①～④より2科目選択必修				Ⅲ. 専門教育科目 64単位以上修得 Ⅰ. 第1類 24単位 (選択必修科目8単位を含む) Ⅱ. 第2類 36単位 (各系12単位必修) Ⅲ. 第3類 4単位 (総合演習) ・3学年次と4学年 次の間に配置して ある科目は、どち らの学年でも履修 できる Ⅳ. 外国語科目の第2 類、保健体育科目、 専門教育科目、他 学部・他学科開講 科目又は単位互 換の協定を締結し ている他大学開 講科目の中から 28単位以上修得 ・専門科目第4類2系 から卒業要件単位と して算入できる単位 数は2単位までを限 度とする。 ・情報リテラシーは 教育職員免許状取 得に必修 ・演習Ⅰは総合演習 を修得しなければ 履修できない ・演習Ⅰは2学年次、 3学年次とも修得 しなければならない ・演習Ⅱの内容は「卒 業研究指導」のため、 演習Ⅰと同一教員の 指導の下で修得しな ければ単位にならない		
			②×マクロ経済学入門	4	通年	経済政策論	4	通年							
			③×資本主義経済入門	4	通年	財政学	4	通年							
			経済統計学	4	通年	金融論	4	通年							
						国際経済学	4	通年							
				西洋経済史	4	通年									
	第 二 類	一 系	理 論				経済数学	4	通年		ミクロ経済学	4		通年	
							経済学史	4	通年		マクロ経済学	4		通年	
											政治経済学	4		通年	
	第 三 類	二 系	政 策								計量経済学	4		通年	
										都市経済学	4	通年			
										経済思想史	4	通年			
第 四 類	三 系	応 用	日本経済入門	4	通年					経済倫理	4	通年			
			情報リテラシー	4	通年					国際金融論	4	通年			
										財政政策論	4	通年			
第 五 類	総 合 研 究		× 総合演習	4	通年	演習Ⅰ(2年)	4	通年	演習Ⅰ(3年)	4	通年	演習Ⅱ	4	通年	
						外国書講読Ⅰ	2	半期		外国書講読Ⅲ	2	半期			
						外国書講読Ⅱ	2	半期		外国書講読Ⅳ	2	半期			
第 六 類	一 系	自 己 の 探 求	キャリア形成論	2	半期					経済学特殊講義Ⅰ	2	半期			
										経済学特殊講義Ⅱ	2	半期			
										経済学特殊講義Ⅲ	2	半期			
第 七 類	二 系					公務員試験経済学講座Ⅰ	2	半期		公務員試験経済学講座Ⅱ	2	半期			
						ファイナンス・プランナー講座Ⅰ	2	半期		ファイナンス・プランナー講座Ⅱ	2	半期			
									Business and Financial English	2	半期				
第 八 類						アメリカ研究簿記学	4	通年		経済法	4	通年			
									政治法	4	通年				
									民法	4	通年				
第 九 類										会社法	4	通年			
											経営学総論	4	通年		

経済学部経済学科課程表

2010(平成22)～2012(平成24)年度入学生適用(その3)

区分	配当年次別授業科目												備考						
	1 学年次			2 学年次			3 学年次			4 学年次									
	科目名	単位	期間	科目名	単位	期間	科目名	単位	期間	科目名	単位	期間							
教育職員免許状の教科に関する科目				日本史概説	2	半期	外国史概説	2	半期	地理学概説	2	半期	地誌学概説	2	半期	職業指導	4	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧(教職課程)を参照のこと ・教育職員免許状の教科に関する科目及び教職等に関する科目は卒業所要単位には加えない ・○印は、教育職員免許状取得に必修 ・☆印は、中学校教諭免許状取得に必修
教職等に関する科目	現代教職論	○2	半期	教育心理学	○2	半期	教科教育研究Ⅰ(社会・公民)	○2	半期	教科教育研究Ⅱ(社会・地理歴史)	○2	半期	教科教育研究Ⅱ(社会・公民)	○2	半期	教育実習Ⅰ	○3		<ul style="list-style-type: none"> ・社会の場合は教科教育研究Ⅰ(社会・地理歴史)、教科教育研究Ⅰ(社会・公民)が必修及び教科教育研究Ⅱ(社会・地理歴史)又は教科教育研究Ⅱ(社会・公民)の何れか選択必修 ・公民の場合は教科教育研究Ⅰ(社会・公民)、教科教育研究Ⅱ(社会・公民)及び教科教育研究Ⅲ(社会・公民)が必修 ・商業の場合は教科教育研究Ⅰ(商業)及び教科教育研究Ⅲ(商業)が必修 ・道徳教育研究は中学校教諭免許状にのみ適用
	教育原理	○4	通年	教育課程論	○2	半期	教科教育研究Ⅲ(社会・地理歴史)	○2	半期	道徳教育研究	☆2	半期	教育実習Ⅱ	☆2		教職実践実習(中・高)	○2	半期	
				教育方法	○2	半期	教科教育研究Ⅳ(社会)	2	半期	教育の相談と指導Ⅰ	○2	半期	教科教育研究Ⅰ(商業)	○2	半期				
				教育の相談と指導Ⅱ	○2	半期	教科教育研究Ⅱ(社会・公民)	○2	半期	特別活動研究	○2	半期	教科教育研究Ⅲ(商業)	○2	半期				
							介護体験実習	☆2											

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	第1類	必修	8
	第2類		20
外国語科目	第1類	必修	4
専門教育科目	第1類	選択必修科目 8 単位を含む	24
	第2類	各系 12 単位必修	36
	第3類	総合演習	4
外国語科目第2類 保健体育科目 専門教育科目 * 1			28
☆1 他学部・他学科開講科目 ☆2 単位互換の協定を締結している他大学開講科目			
合計			124

* 1 専門教育科目第4類2系から卒業要件単位として算入できる単位数は2単位までを限度とする。

☆1、☆2については履修科目登録要項を参照のこと。

・3学年次への進級要件

合計	52単位以上	教養教育科目	第1類	キリスト教学Ⅰ	4単位
			第2類		20単位以上
		外国語科目	第1類		4単位
			第3類	総合演習	4単位
			第1類 第5類		20単位以上